

道守養成コースを開催

道守養成も今年度で7年目に入り、道守12名、特定道守32名、道守補125名、道守補助員236名が活動中です。道守補以上の認定者は、長崎県の実施する「道路橋梁概略点検」「道路防災点検・トンネル点検」に2年前から参加するようになり、また今年度は「重点維持管理橋梁の点検」にも参加しています。

5月23日(金)より、平成26年度前期『道守補養成コース』を開催しました。上五島会場と平戸会場、2会場同時の実施は初めての試みでしたが、DVDによる座学の講義と大学における点検演習、現地における点検実習も無事に終了しました。33名の受講生が熱心に取り組みました。

道守補助員養成コースは、8月2日(土)五島振興局上五島支所、8月9日(土)田平土木維持管理事務所にて開催しました。どちらも台風接近で開催が危ぶまれましたが、なんとか無事に行うことができました。

また、後期は、『道守補養成コース』『特定道守養成コース』を開催します。8月22日(金)から長崎大学を会場に、道守補養成がスタートしています。

元大橋(平戸)における点検実習状



MR第一江迎橋における点検実習状況



コンクリート橋の点検(上五島)



ボランティア清掃活動、頑張ってます

「“道守”養成ユニット 長崎地区」は、平成24年度より年に4回程度、道路の点検を兼ねたボランティア清掃活動を実施しています。認定者の家族の方も協力的で、特に参加した子供たちの「ゴミを捨てない」という意識向上には一役買っているようです。

5月10日(土)の清掃活動の後は、バーベキュー大会を行いました。汗をかいたあとの冷たい飲み物はおいしく、話も弾んで、道守の輪が繋がりが広がっていているようで、楽しい一日でした。今後もこの活動は続けていきますので、皆様ご協力よろしくお願ひします。(次回は9月6日(土)に計画しています)



特別講演会を開催

『新潟県内におけるコンクリート橋梁構造物の維持管理手法と塩害の実態について』

長岡技術科学大学 丸山久一先生



松田教授



長崎市 森尾課長



7月2日(水)、長崎大学文教キャンパスにおいて、長岡技術科学大学名誉教授の丸山久一先生をお招きし、特別講演会を開催しました。新潟県内におけるコンクリート橋梁構造物の維持管理や塩害についての興味深い講演でした。約70名の参加がありました。

また、長崎市土木部道路維持課長の森尾氏と長崎大学の松田教授より「長崎市と長崎大学による社会資本の維持管理に関する覚書」を締結したことの報告がありました。

道路防災・トンネル点検、橋梁概略点検の研修会



長崎県道路維持課による「橋梁概略点検講習会」、「道路防災・トンネル点検研修会」が、7月29日(火)と7月30日(水)に長崎大学スカイホールにおいて開催されました。

自治体、県OBの皆様そして道守認定者が参加し、点検作業の手順や作業内容、点検着眼点、点検結果の記録方法などの研修を受けました。午後からは実際に現場に出向き点検実習を行いました。

この研修を受講した認定者の方には、近々実施される長崎県の点検に、ご協力をお願いすることになります。よろしくお願いいたします。

工業高校生、インフラ長寿命化体験実習



今年度も土木系工業高校生を対象に、「地域活性化のためのインフラ長寿命化体験実習」を8月20日(水)と8月21日(木)長崎大学において実施しました。

佐世保工業高等学校・大村工業高等学校・鹿町工業高等学校の生徒が、非破壊試験器を用いた演習を体験。コンクリート構造においては、電磁波レーダー法、電磁誘導法、反発硬度法、中性化ドリル法などの手法の原理と機器の使い方を学び、鋼構造においては、磁粉探傷試験、浸透探傷試験、鋼材・塗装厚さ測定法などの計測手法の原理と機器の使い方を学びました。

また、この体験実習の講師として道守認定者の協力を受け、秋に行われるこの3校の橋梁点検実習の際も認定者の方が指導に携わります。ここでも認定者は活躍しています。

軍艦島まるごと3Dにしました

今話題の軍艦島（端島）は、明治時代から昭和にかけて海底炭鉱として栄え、最盛期には約5千人が住み東京以上の人口密度だった時代もありましたが、廃墟となってからは集合住宅の遺構としても注目されており、現在は世界遺産登録をめざしている長崎市の島です。その軍艦島に関して、インフラ長寿命化センターは、長崎市より依頼を受け、光学的計測技術である3D レーザースキャナ、UAV、全方向カメラ等を用いて、軍艦島の現状をまるごと3D化しました。

軍艦島全体の3D



30号棟まわりの3D



3D化することで、記録・保存に活用できます。世界遺産登録にむけて、インフラ長寿命化センターは、全面的に長崎市に協力していきたいと思います。

ジャパンクオリティの技術教育をフロンティアアジアへ

去る7月22日から8月1日にかけて、長崎大学においてJICA「ラオス国道維持管理能力強化プロジェクト本邦研修」が開催されました。本研修は、JICA九州からの依頼を受けて、インフラ長寿命化センターと社会環境デザイン工学コース（ともに長崎大学大学院工学研究科）が共同することで実現しました。

今回の研修では、ラオス国の公共事業運輸省（我が国の国土交通省に相当）や県公共運輸局の職員が来日・参加され、ラオス国の道路維持管理能力を強化するため、我が国における舗装や橋梁、斜面の維持管理の組織体制や手法、先進の診断技術について講義・実習に取り組みました。研修のプログラムは、インフラ長寿命化センターの道守講座のカリキュラムをもとにラオス国の要望に応じた構成に再編成されたもので、講義と演習がリンクしたプログラムは好評を博しました。特に、道守講座でも行われている点検演習は研修生が積極的に先進の診断技術を体験し、

強い関心を集めました。また、長崎の道守制度は今後のラオス国の道路維持管理の組織体制の構築に大いに参考となったようです。

このような研修を大学で主体的に受け入れ実施することは初めての試みであり、大学組織がグローバルな技術教育を担う好例となりました。今回の研修が、社会基盤施設の維持管理に係る日本の技術と教育を世界へ発信する重要な一歩となることを期待しています。



「中核的専門人材養成の戦略的推進事業」採択決定！

岐阜大学を幹事校として、長崎大学（副幹事校）、長岡技術科学大学・愛媛大学・山口大学が参画する「成長分野等における中核的専門人材養成の戦略的推進事業」が、本年度も文部科学省から採択されました。

本事業は「地域ニーズに応えるインフラ再生技術者育成のためのカリキュラム設計」を主題として、先行してインフラ再生技術者を育成している岐阜・長崎両大学のカリキュラムを再検討し、長岡・愛媛・山口大学でも人材育成事業を開始するものです。

この事業で長崎大学では、本年度は「特定道守養成コース」「道守補養成コース」「道守補助員養成コース」を実施します。さらに、地方自治体職員を対象とした「初級インフラ研修」を実施するとともに、道守以外の他分野への展開を検討します。

「国土交通省建設技術研究開発助成制度」採択！

建設技術研究開発助成制度「政策課題解決型技術開発公募」に応募し、「光学的計測法を用いた効率的・低コストな新しい橋梁点検手法の開発」が国土交通省から採択されました。

本事業は、点検の効率化・省力化と異常検知レベルの向上の両立のための技術開発を目指すもので、本課題では光学的計測法を用いて、外観劣化情報取得のための3次元維持管理システムの開発、デジタル画像解析による橋梁のたわみ計測法および鋼部材き裂計測法開発を実施し、従来の点検法に代わる効率的・効果的・低コストな新しい橋梁点検手法を開発するものです。さらに、現場での実証試験を実施し有効性と有用性を検証するとともに、提案手法をパッケージ化し活用マニュアルを作成します。近い将来、道守の方々がこの技術を使って橋梁点検する日が来ることを願っています。

道守のみちのり(3月～8月)

当センターの主な活動内容を紹介いたします。

3月8日 愛護団体 清掃点検活動	7月29日・30日 長崎県点検研修会
4月30日 道守審査委員会	8月2日 道守補助員コース開催(上五島)
5月2日 中核的人材育成5大学打合せ会	8月5日 道守審査委員会開催
5月10日 愛護団体 清掃点検活動	8月9日 道守補助員コース開催(平戸)
5月23日～7月4日 道守補(前期)コース開催	8月18日 中核的人材育成全体会議
7月2日 特別講演会開催	8月20日・21日 工業高校「インフラ長寿命化体験」点検演習
7月8日 道守運営協議会	8月22日 道守補(後期)コース開講
7月24日 開発助成第1回打合せ	
7月25日・28日 JICA(ラオス研修)	

新メンバーの紹介



左より、山下朝美さん・村上えりさん・白濱敏行さん・藤谷光さんがセンターに新しく仲間入りしました。皆で協力してこれからも道守を盛り上げていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。また、7月で退職した出水亜紀乃さん・山口恵さん、大変お疲れ様でした。
(松永 佳代子)

問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター 道守養成ユニット事務局

〒852-8521 長崎市文教町1番14号 TEL 095-819-2880 FAX 095-819-2879

Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp URL: <http://michimori.net/> (道守 HP アドレス)